



第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

VOD-14「事例で学ぶ！コロナ時代の患者の「みかた」～日常診療を変えるトラウマインフォームドケア～」

【講師】

漆畑 宗介（東京ほくと医療生活協同組合王子生協病院）

佐野 康太（東京ほくと医療生活協同組合王子生協病院）

武田 稜（東京ほくと医療生活協同組合王子生協病院）

打矢 春花（東京ほくと医療生活協同組合王子生協病院）

コロナ前後の診療で変わるのには感染対策だけじゃない！

コロナ禍での **Stay Home**、周囲との断絶、感染の恐怖、不況・失業、気候変動による大規模災害など、激変する環境の中、身体的・精神的・性的虐待をはじめとして孤立無援状態の中で恐怖にさらされる「トラウマ」を経験する人が増えています。

トラウマは身体的・精神的に様々な症状を引き起こしますが、一見してそうとは分からないまま、プライマリ・ケア医は日常的に遭遇しています。あなたに見えていないだけで、あなたが日頃「困難」と感じている患者の背景にはそんなトラウマが影響しているかもしれません。外来に精神的な支援が必要な患者さんはいませんか？

トラウマに気づく「見かた」を学び、診療における「診かた」を学び、当事者の「味方」になれるように、新たな時代におけるプライマリ・ケアの「標準予防策」として、あなたの日常診療を変える「トラウマ・インフォームド・ケア」を一緒に学びましょう。